



もみじの由来：紅葉は、総社市の市木に制定されています。

**白内障** は、眼の中の水晶体(レンズ)が濁り、視力が低下する病気です。多くは加齢が原因で、誰にでも起こります。進行はゆっくりです。



【主な症状】

【原因】

- 視界がかすむ、もやがかかったように見える。
- 物が二重、三重に見える(複視)。
- 光がまぶしく感じる。
- 視力低下、眼鏡でも矯正が効かなくなる。

加齢(加齢性白内障)：最も一般的な原因で、80代ではほぼ全員に何らかの白内障の兆候が見られます。

その他：糖尿病などの合併症、ステロイド薬の副作用、外傷、先天性のものなど。

★白内障と緑内障の違い★

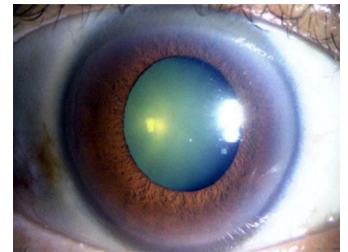
白内障	緑内障
レンズが濁る	視神経が障害
視力低下	視野が欠ける
手術で治る	進行を止める治療

【治療方法】

一度濁った水晶体は、薬で元に戻すことはできません。

初期の場合：点眼薬で進行を遅らせる処置が行われます。

根本治療：白内障手術が必要です。



重度の白内障

● 知って納得、読んで納得



# 白内障・緑内障

**緑内障** は、視神経が少しずつ障害されて視野が徐々に欠けていく病気です。多くの場合、眼圧の上昇が原因ですが、眼圧が正常でも発症する「正常眼圧緑内障」もあります。進行すると失明につながる可能性があり、失われた視野は元に戻らないため、早期発見と眼圧を下げる治療による進行抑制が非常に重要です。

緑内障による視覚障害のイメージ

初期

中期

末期



【症状】

- 視神経の障害：網膜からの光の情報を脳に送る視神経が、圧迫されたり血流が悪くなったりしてダメージを受けます。
- 視野狭窄：障害が進行すると、視野の周辺部から徐々に欠けていき、最終的には霧がかかったように見えにくくなります。
- 自覚症状の乏しさ：初期は自覚症状がほとんどなく、両目で補い合ったり、ゆっくり進行したりするため、気づいたときにはかなり進行しているケースも少なくありません。



【主な原因とリスク因子】

- 眼圧上昇：目の中の「房水」という液体の排出が滞り、眼圧が高くなるのが主な原因です。
- 正常眼圧緑内障：日本人に多く、眼圧が正常範囲内でも視神経がダメージを受けるタイプで、血流障害や体質などが関係すると考えられます。
- その他のリスク因子：40歳以上、近視が強い、糖尿病、高血圧、睡眠時無呼吸症候群など。

【治療】

点眼薬、眼圧を下げる薬。失われて視野は元には戻りません。進行を止める・遅らせることが目的となります。

白内障・緑内障ともに早期発見し適切な治療を受けることが大切です。40歳を過ぎたら定期的に眼科検診を受けましょう。家族に緑内障の人がいる場合は特に注意して下さいね。(阪本)

# 四方山話



世界一の大国が奇襲成功

を自慢することから、遠く離れた国で子供やお年寄りが命を奪われる戦争が始まりました。その影響で原油の安定供給は滞り、透析資材の材料も不足が懸念されています。平和で豊かな生活とは何と薄い氷の上に乗っかっているものかと、改めて気づかされました。

私には外交や国際政治のことはよくわかりませんが、戦争が医療の供給を危うくすることはよく理解できます。やられたらやり返せ、いや、やられる前にやっちゃまえという勇ましい考えも、間違っただけではないのかもしれない。私も納得がいけないことを言われた時には、ついむきになって言い返してしまうことがあります。ただその後で、

何とも虚しい気持ちを味わいます。生来気が小さくて喧嘩も弱い私には、争いごととは向いていないようです。

自分が医療という仕事に携わっていることの意味について、時々考えることがあります。色々もつともらしい理由をつけても、武力的行使とは銃や爆弾で人を殺すということ。更に戦争では、食糧や医療の不足により多くの人が命を失います。食糧や資源に乏しく災害の多い日本で戦争が始まれば、透析医療は大きな危機にさらされます。戦争は私の生活を悪い方に一変させるでしょう。

非暴力という方法は、弱腰とか平和ぼけなどとひどい言われ方をすることもありますが、相手も意地になって、相手が嫌がることをついでに口にしてしまうものは決して褒められたものではありません。道理に合わ

ないように見えても、人にはそれぞれ事情があるものです。そして非暴力で結果を残した例というのは、色々ところで報告されています。

例え弱そうで格好悪く見えたとしても、理不尽な相手にやり返さず、言い返すことなく何とかするということ。道は探せないかと思いつく。世界の情勢に対しては無力ですが、せめて身近な医療の現場では非暴力で踏ん張り続けるのが私の目標です。



## 掲示板



### 後楽園

### 水面とサツキ

### ●編集後記

先日、気象庁から最高気温が四〇℃以上の日の名称が「酷暑日」に決定したとニュースがありました。これまで「猛暑日」でもうんざりしていたのに、今年はこの言葉たちをどのくらい耳にするのでしょうか。春が過ぎ、まだ清々しい風を感じられます。今のうちから体調管理に気をつけていきましょう。

編集委員

発行：(医)杉の会 杉本クリニック

〒719-1136 総社市駅前2丁目18-21

Tel：(0866)92-1000 Fax：(0866)93-8870

メールアドレス：sc-post@mx7.mesh.ne.jp

ホームページアドレス：https://sugimotoclinic.com/



杉本クリニック公式アカウント